



# 学校だより

No. 9

— 12月号 —

2021（令和3）年11月26日

聖ウルスラ学院英智小・中学校

いよいよ今年も残すところ1ヶ月余りとなりました。今のところ新型コロナウイルス感染症の拡大は落ち着きを見せているようですが、海外の状況を見るとまだまだ油断はできません。このような状況下ですが、まずはしっかりとこれまでを振り返り、来年へのよいスタートが切れるような1ヶ月になるようにと願っています。

12月、本校では主キリストの降誕を待ち望む「待降節」をとっても大切にしています。今年の待降節のテーマは「Share the LOVE!」。他者ために祈りながら過ごしましょう。

## 《12月行事予定》

その他	日	曜	First	Second	Third
	1	水	待降節朝礼1	2nd英語暗唱コンテスト	⑥2ndクラブ
	2	木		④防災訓練12:00~	
	3	金			
	4	土			
	5	日			
	6	月			①~⑤T29年新みやぎ模試
	7	火		待降節朝礼2	
職員会議日	8	水		⑥2ndクラブ	
	9	木			
	10	金			
	11	土			
	12	日			
	13	月			
	14	火		待降節朝礼3	
	15	水	1~6年待降節タイム	⑥5~8年委員会	
	16	木			
祈りの集い (クリスマス会)	17	金			
9年卒業委員会13:00	18	土			181進路講演保護者会 (OnLine)11:00
	19	日			
	20	月		⑦7~9年待降節タイム	
(高)クリスマス	21	火		①②③授業④集会	午後:学活等
(高)冬季休業開始	22	水		クリスマスお祝い会	SB10:30
	23	木		冬季休業開始	
	24	金		学校閉鎖	
	25	土		学校閉鎖・主の降誕	
	26	日			T1課外
	27	月			
仕事納め	28	火			
	29	水		学校閉鎖	
	30	木		学校閉鎖	
	31	金		学校閉鎖	

## 【その他・行事予定に関して】

### ◇12月

- ・待降節 “Share the LOVE!”

例年の動きに加えて、今年、新しい取り組みも行われます。このあと宗教部からお便りが出ますので、ご協力をお願いいたします。

- ・セカンド英語暗唱コンテスト（昨年同様）

一堂に会してのコンテストはせず、「クラス単位」で「暗唱のみ」のコンテストです。

### ◇1月

- ・冬季休業の日程に変更はありません

12月23日（木）より1月7日（金）までお休みです。1月8日（土）より登校です。

- ・中学校課程 入試

1月6日（木）に前期入試、1月13日（木）に後期入試が行われます。前期入試は冬季休業中ですが、13日（木）は児童生徒休業日になります。

- ・4年7年リーダー研修会

宿泊を伴う安比高原での研修会はせず、1月21日（金）宮城県松島自然の家での日帰り研修です。当該学年にお知らせしていた内容から若干の変更が生じる予定です。

### ◇2月

- ・高校入試に伴う小・中学校の動きについて

高校入試が2月1日（火）と2月3日（木）に行われます。小・中学校は登校日となっておりますが、前後も含めた日程については、高校の受験者数によって臨時休業や短縮授業などに変更する可能性があります。決まり次第早急にお知らせいたします。

## 学校前の交差点、交通信号機工事のお知らせ



左の地図の「ウルスラ学院前交差点」において「建柱工・機器交換工」が行われるというお知らせが入りました。工事に伴い、車道車線ならびに歩道に規制が生じることです（どちらも昼間）。ご注意ください。

この交差点です。

### ◇規制期間

令和3年 11月下旬から令和4年 3月中旬まで

※雨天等の悪天候時は安全のため工事順延するとのことです。

## 11月 《聖書のみことば》

「私たちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。」

(コリントの信徒への手紙Ⅰ 4章18節)

今月初めの休日、震災遺構である仙台市立荒浜小学校へ行きました。その日は快晴で日差しが暖かく、すぐそばの海は穏やかに波打っていました。「ありがとう荒浜小学校」と書かれた校舎は、青空に向かって気持ちよく建っているように見えました。しかし、校舎内に一歩足を踏み入れると、その表情は一変しました。2階まで津波が押し寄せた校舎は、教室のロッカーや黒板が大きく曲がり、天井には津波のしぶきの跡が残っていて、自然の脅威をまざまざと伝えるものでした。4階へ上がっていくと、1枚の掲示物がふと目に留まりました。「ハッピーあらはま」と書かれた手作りのマップです。荒浜小学校の子どもたちが、荒浜の人や荒浜を訪れる人みんなが幸せになれる場所であってほしいと願って作ったもので、地域を愛する気持ちに溢れていました。

現在、3年生の子どもたちは、社会科で「自然災害からくらしを守る」という単元を学習しています。先日は、『もし大きな地震が起きて学校が避難所になったら、自分たちにできることは何か』について話し合い活動を行いました。避難している人数より少ない数のお弁当が届いたらどうするか。避難してきた地域の方のために何ができるか。大きな災害を経験していない子どもたちが想定することは容易ではなかったと思います。でも、子どもたちは一人ひとりが問題に向き合い、考え、真剣に友達と意見を交わしました。「みんなで少しずつ食べることができるよう家族に1個ずつ配るといいと思う。」「小さい子どもには絵本の読み聞かせをしてあげられる。」「お年寄りの方といっしょに昔の手遊びをしたら、元気が出るんじゃないかな。」話し合う3年生の子どもたちの姿と、荒浜地区に再び笑顔を取り戻したいと願って「ハッピーあらはま」のマップを作った荒浜小学校の子どもたちの想いは、11月の聖書のみことば『私たちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。』と重なります。見えないものに目を注ぐとは、他者の心に寄り添い、喜びや痛みを感じることであり、他者のために自分にできることをしようとするのだと、子どもたちからあらためて気づかされました。



荒浜小学校からの帰り道、見たことがないほどたくさんのおんぼが秋空を飛んでいました。飛んでいるというよりは、吹きつく風にあらがうことなく舞っているのよう見え、それは震災で亡くなった方々の魂のようにも感じました。東日本大震災から今年でちょうど10年。私も震災で教え子を亡くしました。心穏やかでいつも静かに読書をしていたその女の子は、ある日「先生と先生の家族が幸せになりますように。」と言って、四つ葉のクローバーのしおりをくれました。その時の優しい笑顔を、今もはっきりと覚えています。今月は死者の月でもあります。亡くなった方々を想い、今を生きる私たちにできることは何かを自身に問い続けながら、これからも子どもたちと共に学んでいきたいと思ひます。

3年A組担任 大坂 美樹子

# ほめたたえ

## ☆令和3年度 宮城県中学校新人大会 バドミントン競技

男子団体 第1位

個人男子ダブルス 第1位 根本舜生・石原慶悟

第2位 八木澤賢翼・弓削綾登

個人男子シングルス 第1位 村木悠空 第2位 齊藤優楽

女子団体は今月末に行われます

個人女子ダブルス 第1位 戸上 凜・木村ひなの

第2位 新田紗矢・山崎楓由

個人女子シングルス 第1位 山辺彩由里 第2位 山下羽奈

## ☆第37回 全国硬筆コンクール

銅賞 3年 鈴木姫依

銀賞 5年 鈴木嶺旺

## ☆第35回 全国書写書道展覧会

準特選 5年 鈴木嶺旺

### ◆2021年度英智研究会…研究主題「ESD で学校教育目標の実現を図る」

11月20日(土)に行われた英智研究会は、大変実りの多い会となりました。当日は、3B(社会「自然災害からくらしを守る」)と282(地球市民「職業観を養おう」)の研究授業、および6年生のプログラミング教育の実践報告、そして分かち合いが行われ、午前中だけの会でしたがとても充実したものとなりました。



3B テーマに対する意見をまとめています。



282 職業調べのプレゼンをしています。

これに先立ち、3・4年生では ESD の取り組みに関連して「環境出前講話」をしていただきました。13日(土) 宮城県地球温暖化防止活動推進委員の石井洋子さん(元気象庁職員、第49次日本南極地域観測隊員)をお迎えして、南極の状況についてたくさんの貴重なお話を伺いました。

3年生の学年だより「ハーモニーNo.22」で、研究会の報告も含め紹介されました。

こちらからご覧ください。⇒

